

2023年10月9日(月)

老球の細道755号

### スポーツ観戦

会津バスケットボール協会 室井 富仁

かつて文豪の三島由紀夫はスポーツをすることについて次のようなことを言っていた。「運動の後のシャワーの味には、人生で一等必要なものが含まれている。どんな権力を握っても、どんな放蕩を重ねても、このシャワーの味を知らない人は、人間の生きる喜びを本当に知ったとはいえないであろう」〈指導者のためのスポーツジャーナル〉

バスケットボールはもちろんのこと色々なスポーツを実践してきた私は、三島のこの考えは実に良く分かる。不謹慎であるがシャワーにビールが加われば、また格別である。

今日は「スポーツの日」。日本スポーツ協会が謳うスポーツの楽しみには「する、見る、知る、支える」があるという。身体を自由に動かさない今、私のスポーツの楽しみはもっぱら「見る」にある。腰痛手術で退院する頃に日本中が国際スポーツ大会で大騒ぎであった。アジア大会、ラグビーワールドカップ、男子バレーボールパリ五輪予選等である。日中はビデオやパソコンに録画してあるバスケットボールの試合を楽しみ、夜はテレビでサッカー、バレーボール、ラグビーなどの試合を観戦した。

まずはアジア大会であるが、驚いたのはサッカー男子の日本対北朝鮮の試合。スポーツによる平和、国際親善など机上の空論かのような一触即発のラフプレイ、低マナーの応酬。私も現役時代に覚えがあるが、相手の挑発に乗ったら最後、自分が悪者になる。スポーツの世界では正当防衛はなかなか認められない。男子日本代表は選手もスタッフもよく我慢したと思う。噂によると、あのような威圧的な態度は金さんの指示によると言われるが、残念。

バスケットボールは、女子決勝で日本は中国に負けたが、身長差をディフェンスのがんばりとオフェンスの動きの連続、スタミナで翻弄したのは素晴らしかった。小さいから負けたの時代は過ぎ去り、小さくてもやれる昨今の日本のバスケットであった。一方、男子代表はあのメンバー構成で良かったのだろうか。パリ五輪の出場権を得られたからアジア大会はBチームでも良かったのだろうか。残念。

もう一つの注目は男子バレーボールパリ五輪代表決定戦である。代々木第一体育館が連日満員1万人以上の観客で埋め尽くされていた。選手がイケメン揃いで、なかには「国宝級のイケメン」と週刊誌に載る選手もいた。そのため観客席はほとんど女性。我が家の女性たちもイケメン目当てに毎晩鼻の下を長くではなく首っただけで観戦していた。

しかし、通常のイケメン＝軟弱の方程式は当てはまらず、ミュンヘン五輪で金メダルを獲得した時以上のチーム力を感じさせられた。何がすごかったか。一つあげればレシーブ力、ディフェンス力であった。どんな強烈なサーブ、スパイクが来てレシーブが乱れても、どんな悪い体勢でも、確実にトスにつなげてスパイクで返す。これを粘り強く繰り返して相手が根負けをする。久しぶりにバレーボールの醍醐味を見た。喝采。

色々なスポーツを見る、見る、見る。バスケットもみるみる上手くなる。